

春の小川通信

だれもが安心して暮らせる地域に。
障がい者の地域での暮らしを支援しています。

2024. 11

NO.43



特定非営利活動法人 春の小川

〒399-0706 長野県塩尻市広丘原新田 93-1

電話/FAX 0263-51-6393 E-Mail sarasara@dia.janis.or.jp

発行責任者/理事長 小沼芳博

やっかいな 無意識な思い込み

理事長 小沼 芳博

最近、障がい者に対する支援方法について、研修する機会がありました。今回は「無意識な思い込み（アンコンシャス バイアス）」を学びました。

今や支援の基本である社会モデル（変わらなければいけないのは支援者、家族をはじめとした環境であり障がい者ではない）を含む権利条約が効力を発生して 10 年にもなるそうですが、いまだに支援の 70%は旧態依然の医学モデルが徘徊しているとのことでした。その最大の原因が「無意識な思い込み」です。この無意識というのが大変な曲者で、意識しないのでなかなか自覚することができません。例えば、障がい者は意思決定ができないので支援しなければ生活ができない？ グループホームは集団生活の場なので決まりは大事？ が優先されていないか等です。知識では理解していても、敵は無意識なので意識して変えない限り何も変わらないのです。

私事で恐縮ですが、私には小 6 の孫娘がおり、最近習い事の送りを担当しているのでよく話す機会があります。将来への希望や悩み、嬉しかったこと悔しかったこと等を聴く限り、登場人物が違うだけで、子供なりに一つの完成された世界の中で生きているんだと改めて感じている爺バカ日誌でした。ここでも「子供の世界は大人の世界に比べ不完全なもの」という無意識な思い込みがあったに違いありません。

利用者の皆さんを支援する我々にとって大切なのは、今までやってきたことを再度「社会モデル」という目で見直し、完全ではなくても自分で考え、現場を改善していく努力を続けることなのです。（がんばりましょう！）

春の小川の Web サイトをご存じですか？

春の小川の Web サイトでは、運営しているグループホームやちゅーりっぷの様子、法人の総会や事業報告などを不定期に発信しております。もちろん「春の小川通信」についてもここから確認することができますのでぜひ試してみてください。

サイトを開くには以下の方法があります。

- ①右の QR コードを使う。
- ②ブラウザに次のアドレスを入力する。

<https://harunoogawa.naganoblog.jp/>

- ③「NPO 春の小川」と検索する。

検索結果の中に、ナガプロの「特定非営利活動法人 春の小川」

が見つかったら、そこから直接開くことができます。見つからない場合は、登録している「長野県みらいベース」や「CANPAN」「塩尻商工会議所」「WHAMNET（ワムネット）」などの法人を紹介するページから、リンクをたどって開くことができます。

